

## 2009年5月は、小型が優勢

### 要約

2009年5月は、先月に引き続き、市場全体が上昇する結果となった。業種別で見ても、ほとんどの業種でパフォーマンスの改善が見られた。スタイル別では、特に小型株のパフォーマンスが良好であった。個別銘柄で見ると、三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)の寄与度が最も高かった。

2009年6月1日

クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

### ① 小型が優勢

2009年5月のRussell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は、前月比+8.48%の上昇を示した。Russell/Nomura Total Value 指数とRussell/Nomura Total Growth 指数のリターン・スプレッド(円建て)は-0.91%となり、4カ月続いたバリュウ優位の傾向から転じて、僅かではあるがグロース優位の傾向を示した。また、Russell/Nomura Small Cap 指数とRussell/Nomura Large Cap 指数のリターン・スプレッド(円建て)は+2.42%となり、小型優位の傾向を示した。

### ② リビジョン・インデックスは-8.62

個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは-8.62となった。先月より大幅に改善し、マイナスではあるものの2007年10月以来の高水準となった。

### ③ 鉱業のパフォーマンスが良好

Russell/Nomura Prime 指数における業種別月次リターンでは鉱業、不動産業、証券・商品先物取引業のパフォーマンスが良好であった。

### ④ 寄与度最上位は三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)

Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄の寄与度ランキングでは、寄与度最上位は三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)であった。次いで、三菱商事(8058)の寄与度が高かった。

野村證券

金融工学研究センター

片山 智代

田村 浩道

03-3274-1079

[katayama-1q31@jp.nomura.com](mailto:katayama-1q31@jp.nomura.com)

### スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	コア -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	小型 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 #####	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.70	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	200812	200901	200902	200903
1	コア 15.19	成長 5.22	小型 #####	割安 -0.21	割安 -3.34	割安 -10.3	小型 -16.4	小型 0.82	成長 3.85	割安 -5.39	割安 -2.11	小型 5.08
2	割安 13.93	小型 3.92	割安 #####	小型 -0.89	市場 -3.54	小型 -11.3	成長 -20.3	市場 -3.66	市場 2.98	小型 -6.53	市場 -4.64	割安 3.93
3	市場 11.93	コア 3.83	コア #####	市場 -1.40	小型 -3.58	市場 -13.0	市場 -20.3	成長 -4.18	小型 2.73	市場 -7.64	コア -4.76	市場 3.23
4	成長 11.56	市場 3.64	市場 #####	コア -1.49	コア -3.82	コア -14.0	コア -20.7	割安 -4.65	コア 2.28	コア -7.98	小型 -5.57	成長 2.02
5	小型 6.62	割安 2.08	成長 #####	成長 -2.77	成長 -3.85	成長 -16.2	割安 -21.4	コア -7.61	割安 2.02	成長 -9.61	成長 -6.41	コア 1.03
順位	200904	200905	投資スタイルと対応指数									
1	割安 12.92	小型 9.18	市場	Russell/Nomura Prime								
2	コア 10.28	成長 7.42	コア	Russell/Nomura Top Cap								
3	市場 8.31	市場 7.12	割安	Russell/Nomura Large Cap Value								
4	小型 5.68	割安 6.02	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth								
5	成長 5.08	コア 6.02	小型	Russell/Nomura Small Cap								

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村證券金融工学研究センター

野村證券株式会社 金融工学研究センター 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法のみ配布して提供されています。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 目次

---

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況 ..	1
2. 業種別パフォーマンス・レビュー .....	5
3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー .....	6
Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて .....	7

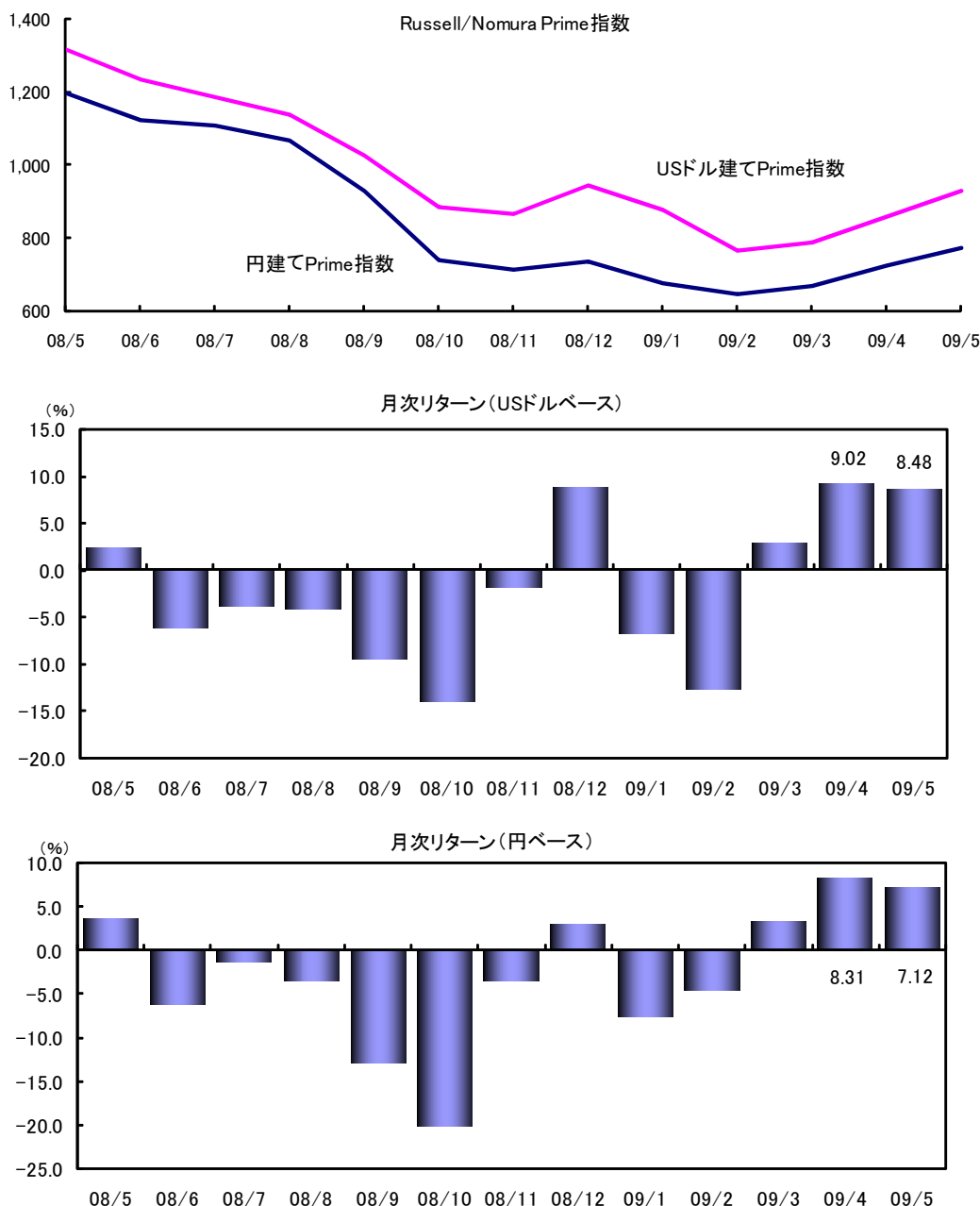
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# 1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

## 09年5月のPrime指数(米ドル建て)は、+8.48%の上昇

2009年5月における、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比+8.48%となった。円建てベースでも、前月比+7.12%の上昇であった。2009年5月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は2009年4月末時点の97.67円から、96.45円となった。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村證券金融工学研究センター

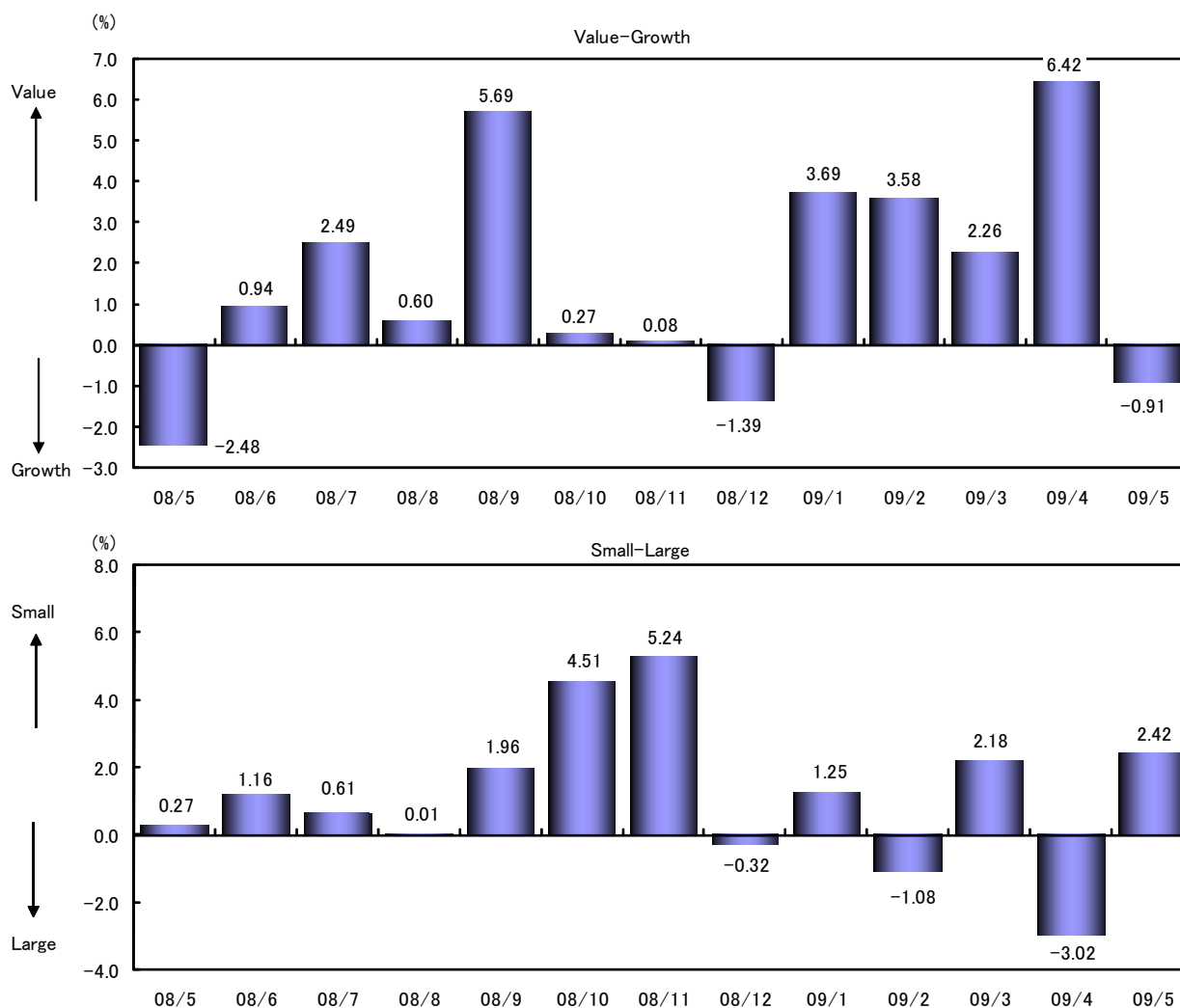
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 小型が優勢

図表2は、スタイル別のリターン・スプレッド(円建て)の月次推移を示している。また、図表3は、市場、コア(時価総額上位50%以上)、割安(大型・バリュース株)、成長(大型・グロース株)、小型といった5つのスタイル区分による月次リターン(円建て)のランキングを表している。

2009年5月は、先月に引き続き、市場全体が上昇する結果となった。その中で、最も良好なパフォーマンスを示したのは、小型であった(図表3)。バリュース株・グロース株の比較で見ると、グロース株は+7.62%であったのに対し、バリュース株は+6.71%であった。これより、バリュース株とグロース株のリターン・スプレッドは、-0.91%となり、4カ月間続いたバリュース株優位の傾向から転じて、若干ではあるがグロース株優位の傾向を示した。一方、小型・大型の比較で見ると、小型株が+9.18%であったのに対し、大型株は+6.75%であった。これより、小型株と大型株のリターン・スプレッドは、+2.42%となり、小型優位の傾向を示した。また、直近6カ月において、小型と大型が交互に優位になる傾向が見られた(図表2)。

図表2 リターン・スプレッドの月次推移



(注) Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、Small-Large は Small と Large のリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所)野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603	
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51	
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82	
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73	
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33	
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18	
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703	
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00	
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41	
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60	
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94	
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23	
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803	
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06	
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58	
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85	
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47	
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12	
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	200812	200901	200902	200903	
1	コア 15.19	成長 5.22	小型 -5.26	割安 -0.21	割安 -3.34	割安 -10.3	小型 -16.4	小型 0.82	成長 3.85	割安 -5.39	割安 -2.11	小型 5.08	
2	割安 13.93	小型 3.92	割安 -6.14	小型 -0.89	市場 -3.54	小型 -11.3	成長 -20.3	市場 -3.66	市場 2.98	小型 -6.53	市場 -4.64	割安 3.93	
3	市場 11.93	コア 3.83	コア -6.28	市場 -1.40	小型 -3.58	市場 -13.0	市場 -20.3	成長 -4.18	小型 2.73	市場 -7.64	コア -4.76	市場 3.23	
4	成長 11.56	市場 3.64	市場 -6.31	コア -1.49	コア -3.82	コア -14.0	コア -20.7	割安 -4.65	コア 2.28	コア -7.98	小型 -5.57	成長 2.02	
5	小型 6.62	割安 2.08	成長 -6.70	成長 -2.77	成長 -3.85	成長 -16.2	割安 -21.4	コア -7.61	割安 2.02	成長 -9.61	成長 -6.41	コア 1.03	
順位	200904	200905	投資スタイルと対応指数										
1	割安 12.92	小型 9.18	市場	Russell/Nomura Prime									
2	コア 10.28	成長 7.42	コア	Russell/Nomura Top Cap									
3	市場 8.31	市場 7.12	割安	Russell/Nomura Large Cap Value									
4	小型 5.68	割安 6.02	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth									
5	成長 5.08	コア 6.02	小型	Russell/Nomura Small Cap									

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

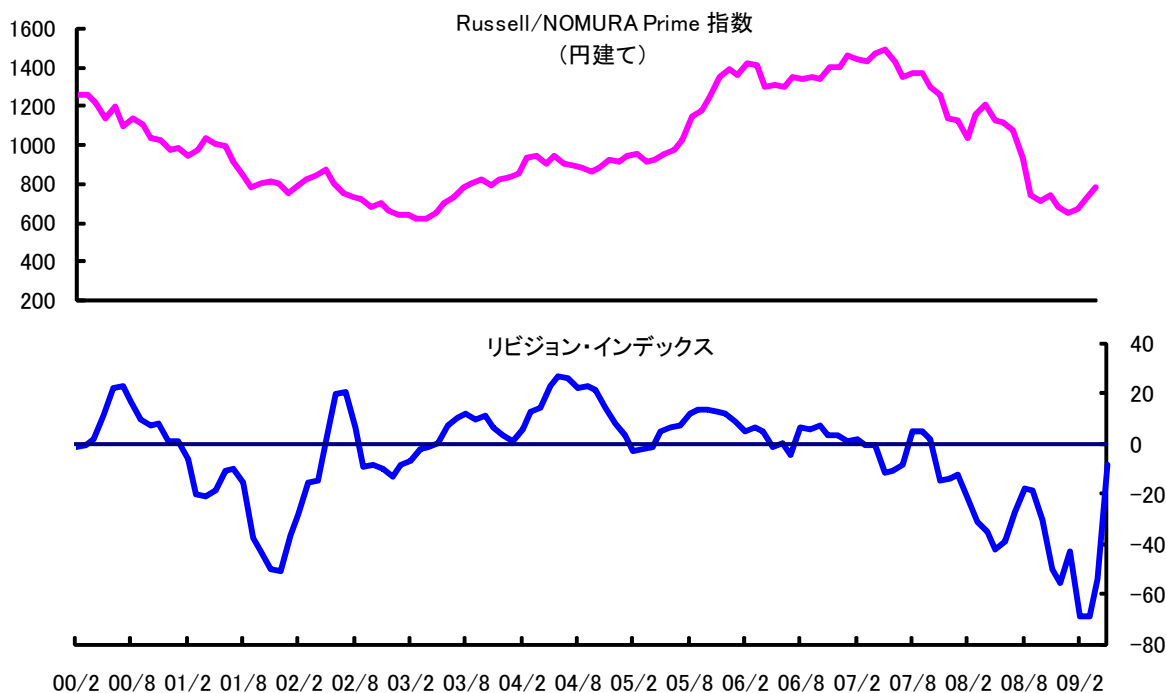
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法のみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## リビジョン・インデックスは-8.62となり、大幅な改善

Russell/Nomura Total Market 指数を構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると(図表4)、2009年5月は大幅に改善し、-8.62となった。これは、マイナスではあるものの、2007年10月以来の高水準である。上方修正側と下方修正側双方の改善で、このような水準まで上昇した。上方修正銘柄数は倍増して462銘柄となり、下方修正銘柄数も大幅に減少して563銘柄となった。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2009年05月	-8.62	462	563
2009年04月	-54.30	217	930

(注) リビジョン・インデックスとは、(上方修正銘柄数-下方修正銘柄数)/有効銘柄数×100で算出される業績の修正動向を示す指数である。2009年5月の有効銘柄数は1,172銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura Total Market 指数に含まれる全銘柄とし、月末業績予想値と前四半期中に発表された最終業績予想値の比較に基づいて算出している。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 2. 業種別パフォーマンス・レビュー

### パフォーマンス最上位は鉱業

Prime 指数において、2009年5月のパフォーマンスが最も良かった業種は、鉱業であった。同業種の前月比の月次リターンは+24.35%となった。次いで、不動産業(+22.39%)、証券・商品先物取引業(+20.19%)の月次リターンが高かった。どの指数においても、ほとんどの業種で月次リターンがプラスであり、上位業種の月次リターンは、先月に引き続き高水準であった。一方、パフォーマンスが悪化したのは、空運業で、前月比の月次リターンは-2.86%であった。次いで、電気・ガス業(-0.67%)、輸送用機器(0.41%)などの月次リターンが低かった。市場全体が上昇する中で、空運業、電気・ガス業は2カ月連続で月次リターンがマイナスであった(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	7.12	Large Value	6.02	Large Growth	7.42	Small	9.18
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 鉱業	24.35	証券・商品先物取引業	24.33	不動産業	24.03	鉱業	25.89
	2 不動産業	22.39	不動産業	20.73	鉱業	23.76	石油・石炭製品	25.70
	3 証券・商品先物取引業	20.19	その他金融業	17.72	海運業	20.50	非鉄金属	17.47
	4 海運業	17.10	卸売業	17.53	証券・商品先物取引業	20.33	海運業	17.38
	5 非鉄金属	17.08	非鉄金属	16.75	卸売業	18.59	その他金融業	16.85
	6 その他金融業	16.76	海運業	16.09	非鉄金属	16.67	証券・商品先物取引業	16.37
	7 卸売業	16.62	石油・石炭製品	14.43	ガラス・土石製品	13.79	不動産業	14.38
	8 石油・石炭製品	14.34	その他製品	13.44	鉄鋼	12.19	鉄鋼	14.01
	9 鉄鋼	12.88	鉄鋼	13.02	精密機器	11.94	化学	13.63
10 精密機器	11.82	化学	12.86	機械	10.77	精密機器	13.22	
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 空運業	-2.86	電気・ガス業	-1.86	空運業	-2.86	繊維製品	-4.50
	2 電気・ガス業	-0.67	ゴム製品	-1.11	その他製品	-1.28	銀行業	2.06
	3 輸送用機器	0.41	輸送用機器	-0.36	ゴム製品	-0.68	電気・ガス業	2.12
	4 ゴム製品	0.57	パルプ・紙	-0.17	電気・ガス業	0.14	パルプ・紙	2.84
	5 繊維製品	1.24	サービス業	0.17	陸運業	1.73	水産・農林業	3.54
	6 パルプ・紙	1.25	電気機器	1.70	保険業	2.20	ガラス・土石製品	3.77
	7 陸運業	2.81	建設業	2.13	その他金融業	3.86	輸送用機器	5.28
	8 水産・農林業	3.56	食料品	5.07	輸送用機器	4.14	食料品	5.81
	9 その他製品	4.52	小売業	5.85	パルプ・紙	4.73	小売業	6.94
10 電気機器	4.64	機械	5.99	小売業	6.36	倉庫・運輸関連業	7.06	

(注) 単位は(%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布してまいります。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

#### 寄与度最上位は三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)

個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示したのが図表6である。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)が+0.306%と最も高い寄与度を示し、月次リターンは前月比+11.78%となった。次いで、三菱商事(8058)で+0.193%、月次リターンは前月比+19.14%であった。一方、最も低い寄与度を示したのは本田技研工業(7267)で-0.070%であった。同銘柄の月次リターンは前月比-3.34%となった。次いで、パナソニック(6752)で-0.064%、月次リターンは前月比-4.34%であった。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

Prime: 7.12%					Top: 6.02%				
		寄与度(%) リターン(%)			寄与度(%) リターン(%)				
上位銘柄	1	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.306	11.78	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.663	11.78
	2	8058	三菱商事	0.193	19.14	8058	三菱商事	0.418	19.14
	3	8802	三菱地所	0.162	21.90	8802	三菱地所	0.351	21.90
	4	8031	三井物産	0.150	17.15	8031	三井物産	0.325	17.15
	5	8801	三井不動産	0.146	28.24	8801	三井不動産	0.316	28.24
下位銘柄	1	7267	本田技研工業	-0.070	-3.34	7267	本田技研工業	-0.152	-3.34
	2	6752	パナソニック	-0.064	-4.34	6752	パナソニック	-0.139	-4.34
	3	7203	トヨタ自動車	-0.044	-1.04	7203	トヨタ自動車	-0.095	-1.04
	4	6501	日立製作所	-0.038	-7.62	6501	日立製作所	-0.083	-7.62
	5	9531	東京瓦斯	-0.029	-6.68	7974	任天堂	-0.060	-1.94

Large-V: 6.02%					Large-G: 7.42%				
		寄与度(%) リターン(%)			寄与度(%) リターン(%)				
上位銘柄	1	8031	三井物産	0.366	17.15	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.573	11.78
	2	9432	日本電信電話	0.320	7.61	8802	三菱地所	0.364	21.90
	3	8058	三菱商事	0.269	19.14	8801	三井不動産	0.328	28.24
	4	8001	伊藤忠商事	0.261	30.99	7751	キヤノン	0.276	6.78
	5	5411	ジェイ エフ イー ホールディングス	0.239	18.88	8411	みずほフィナンシャルグループ	0.255	10.68
下位銘柄	1	7267	本田技研工業	-0.172	-3.34	9531	東京瓦斯	-0.064	-6.68
	2	6752	パナソニック	-0.140	-4.34	7974	任天堂	-0.062	-1.94
	3	7203	トヨタ自動車	-0.097	-1.04	8795	T&Dホールディングス	-0.055	-7.19
	4	6501	日立製作所	-0.084	-7.62	4911	資生堂	-0.038	-6.07
	5	6758	ソニー	-0.048	-1.38	8729	ソニーフィナンシャルホールディングス	-0.034	-10.23

Small: 9.18%					
		寄与度(%) リターン(%)			
上位銘柄	1	6366	千代田化工建設	0.113	39.52
	2	8697	大阪証券取引所	0.113	42.63
	3	5803	フジクラ	0.104	28.91
	4	5007	コスモ石油	0.098	23.13
	5	8804	東京建物	0.096	35.14
下位銘柄	1	3107	大和紡績	-0.068	-38.37
	2	3109	シキボウ	-0.032	-39.73
	3	3103	ユニチカ	-0.030	-21.10
	4	5463	丸一鋼管	-0.029	-9.28
	5	9737	CSKホールディングス	-0.027	-21.04

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

寄与度とは前月末インデックス内構成ウエイト×月次リターン(%)で算出される値。

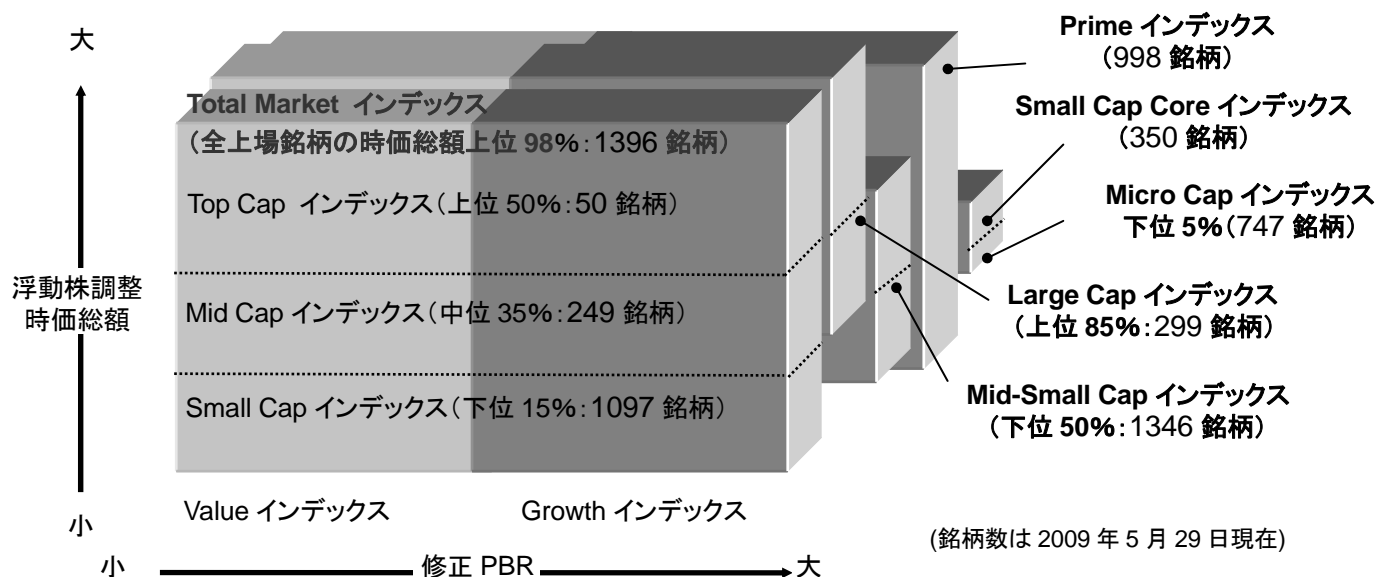
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法のみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## Q&amp;A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されており、なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: [http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN\\_rule200904.pdf](http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200904.pdf) をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: <a href="http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html">http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html</a>

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などをご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、野村自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布してあります。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子: [idx\\_mgr@frc.nomura.co.jp](mailto:idx_mgr@frc.nomura.co.jp)

電 話 : 03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 野村証券からのお知らせ

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）取引の場合は約定代金に対して最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は、2,730 円（税込み））の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）の売買取引には、約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み））の売買手数料をいただきます。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

外国株式の売買取引には、売買金額（現地約定金額に現地手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対し最大 0.9975%（税込み）（売買代金が 75 万円以下の場合は最大 7,455 円（税込み））の国内売買手数料をいただきます。外国の金融商品市場での現地手数料や税金等は国や地域により異なります。外国株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。外国株式は株価の変動および為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

信用取引には、売買手数料（約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み）））、管理費および権利処理手数料をいただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付け株券等に対する貸株料および品賃料をいただきます。委託保証金は、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。詳しくは、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、等をよくお読みください。

### 野村証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第 142 号

加入協会／日本証券業協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また、また自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法のみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。